

## 成果指標 検証票

施策名	2-(4)-ウ-⑤		交通安全対策の強化						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
交通事故重傷者数及び死者数(交通事故重傷者数)	人	434	399	429		394	18.5%	達成に努める	
			計画値						
			421	407	394				
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
R4	R5	R6							
交通事故重傷者数及び死者数(死者数)	人	26	34	38		27	1,200.0%	達成に努める	
			計画値						
			26	27	27				
担当部課名	県警本部交通部交通企画課								
達成状況の説明									
<p>令和5年中の交通事故重傷者数は、前年と比較して30人増加しており、死者数は、前年と比較して4人増加し、現状において目標を達成できていないことから、目標達成に向けて取組の改善が必要である。</p>									

(様式3) 「成果指標」 検証票

要因分析					
類型	説明				
⑤ 周知・啓発不足等	高齢者の死者数が多く、高齢運転者及び高齢歩行者に対する交通安全教育及び広報啓発について、効果的な活動方法を検討する必要がある。				
対応案					
令和5年中の高齢者の死者数は20人で、前年の二倍となっており、全死者に占める構成率も52.6%となっている。高齢者の事故は重大化する傾向があることから、高齢運転者及び高齢歩行者に対する参加体験実践型交通安全教育、効果的な広報啓発活動等の各種対策を推進していく。また、3年連続飲酒絡みの事故が全国ワーストにあることから、取締り及び関係機関団体等と連携した飲酒運転根絶の各種取組を推進する。					
関連する主な取組					
施策番号	2-(4)-ウ-⑤	主な取組名	交通安全施設等整備事業	対応課	交通部交通規制課
成果指標への寄与の状況	令和5年中の交通事故重傷者数は、前年と比較して30人増加しており、死者数は、前年と比較して4人増加し、現状において目標を達成できていないことから、目標達成に向けて取組の改善が必要である。				
要因分析	高齢者の死者数が多く、高齢運転者及び高齢歩行者に対する交通安全教育及び広報啓発について、効果的な活動方法を検討する必要がある。				
対応案	令和5年中の高齢者の死者数は20人であり、前年の二倍となっており、全死者に占める構成率も52.6%となっている。高齢者の事故は重大化する傾向があることから、高齢運転者及び高齢歩行者に対する参加体験実践型交通安全教育、効果的な広報啓発活動等の各種対策を推進していく。また、3年連続飲酒絡みの事故が全国ワーストにあることから、取締り及び関係機関団体等と連携した飲酒運転根絶の各種取組みを推進する。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	2-(4)-ウ-⑤	主な取組名	交通安全施設の整備	対応課	道路管理課
成果指標への寄与の状況	-				
要因分析	-				
対応案	-				
関連する主な取組					
施策番号	2-(4)-ウ-⑤	主な取組名	交通安全対策・飲酒運転根絶対策事業（交通安全教育）	対応課	交通部交通企画課
成果指標への寄与の状況	令和5年中の交通事故重傷者数は、前年と比較して30人増加しており、死者数は、前年と比較して4人増加し、現状において目標を達成できていないことから、目標達成に向けて取組の改善が必要である。				
要因分析	高齢者の死者数が多く、高齢運転者及び高齢歩行者に対する交通安全教育及び広報啓発について、効果的な活動方法を検討する必要がある。				
対応案	令和5年中の高齢者の死者数は20人で前年の二倍となっており、全死者に占める構成率も52.6%となっている。高齢者の事故は重大化する傾向があることから、高齢運転者及び高齢歩行者に対する参加体験実践型交通安全教育、効果的な広報啓発活動等の各種対策を推進していく。また、3年連続飲酒絡みの事故が全国ワーストにあることから、取締り及び関係機関団体等と連携した飲酒運転根絶の各種取組みを推進する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	2-(4)-ウ-⑤	主な取組名	交通安全対策・飲酒運転根絶対策事業（交通安全運動）	対応課	生活安全安心課
成果指標への寄与の状況	各種取組により、交通安全運動協力団体は増加しているが、事故の減少には繋がっていないのが現状としてある。 ※令和5年12月末現在：交通事故重傷者数429名、死者数38名				
要因分析	コロナ渦による行動制限が緩和され、人や車の交通量が急増し事故も増加している。 また、高齢化社会に伴い高齢者関連事故が増加している。				
対応案	新聞、SNS、デジタルサイネージ等、各種広報媒体を活用し、幅広い世代に浸透する広報啓発活動を展開し、県内の交通事故情勢、事故防止に向けた取組などを関係機関・団体等と連携して発信していく。				